

## 第6学年 総合的な学習の時間 学習指導案

東京都 白百合学園小学校 教諭 植木凡子

1. 単元名 伝統の心を受け継ぐとは ～建学の精神を知る～

### 2. 単元の目標

- ・ 神様の教え、本校の校訓「従順・勤勉・愛徳」規範を理解する。 (知識技能)
- ・ 自分の力をみんなのために進んでいかそうとする。 (思考・判断・表現)
- ・ かけがえのない存在としての自分の力を自覚し、進んで関わろうとする。  
(主体的に学習に取り組む態度)

### 3. 単元について

#### (1) 教材観

校訓を土台に、児童に伝わりやすい言葉で「〇〇生の姿」として毎年学校全体で掲げている目標がある。この目標から、建学の精神、神様の教えについて自分なりに解釈していく。その解釈を共に過ごして生きた友達や先生と共有する中で、下級生（誰か）に伝えたり、実践したりと思考から行動へと促していきたい。

#### (2) 児童観

幼小中校が併設している本校は、姉妹のような縦の繋がりが感じられる。一貫校であるため、共に過ごす中で育まれた友情は、卒業してからも続くかけがえのない存在であるとも聞く。日々の生活の中で朝礼のお祈りや授業、今月の言葉（聖書や聖人、信徒への手紙から1つ決められたもの）学級の中で設立当初のマ・スールの思い「周りの人のために」奉仕の精神が自然と醸成されているように感じている。児童は各教室に「従順・勤勉・愛徳」の校訓を掲げいつでも目にすることができるが、その意味をどこまで理解できているのかは個人差が大きいと感じている。

#### (3) 指導観

建学の精神、神様の教えという揺るぎないものを理解する手立てとして、マ・スールのお話を伺ったり、聖歌や聖書の言葉から意味を考えたり、自分事として卒業生や校長先生の話を知ったりする機会を設けたいと考えている。指導者として教師が前に立つのではなく、児童と同じ目線で、考えて悩んでみた。また、120年前の思いをどのように引き継いでいけるのか、具体的に子どもたち自身がどのように感じ考えているのかを大切に、活動を膨らませていきたい。

#### (4) ESD との関連

##### ・本学習で働かせる ESD の視点 (見方・考え方)

有限性：伝統をどのように引き継ぎ、次の世代に継承していくのか。その意味は何か。

相互性：ひとりでは生きていけない。みんなで関わり合い、支え合うことの大切さ。

##### ・本学習で育てたい ESD の資質・能力

多面的・総合的に考える力

修道女の奉仕の活動から始まった学校の由来を知るだけでなく、その方たちが少なくなってきた今現在、自分ができることを考えてアクション、共有できる力。

##### ・本学習で変容を促す ESD の価値観

幸福感を大切にする

一人一人神様に愛されているかけがえのない存在である。

世代間の公正

大切に受け継がれてきた修道女会の心、建学の精神を知るだけでなく、次の世代へ（下級生へ）引き継いでいくことのミッション

##### ・達成が期待される SDG s



#### 4. 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・建学の精神、マ・スールの思いを受け止め、自分事として理解している</li> <li>・決められた場面だけでなく、日常生活の中で、その思いを自然に活かすことができている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マ・スールの話や日常の祈りから、疑問や課題を見つけている。</li> <li>・自分の思いを友達、クラス、学年で共有しながらその輪を妹たち（下級生）や学校全体へと広げ、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分にできることを自覚し、惜しみなくその力を発揮しようとしている。</li> <li>・自分から考えて質問や提案といった、他者を理解しようとしている。</li> </ul>

## 5. 単元の指導計画（全5時間）

次	主な学習計画	学習者への支援	評価（△） 備考（・）
1	今年度の目標から「どんな私になりたいか」を想像する。	目標と照らし合わせて、どんな6年生最上級生になりたいかを「具体的に」にイメージを膨らませるようにする。	△知・技 △主体的
2	マ・スールのお話を聞く （事前に質問を聞いておく） ・なぜマ・スールになったのか ・今考えていること ・伝えたいこと など	マ・スールに聞いてみたいことを考える中で、自分が通っている学校がどのように設立された学校であったのかを振り返る。→問いを生み出す。 ・マ・スールが少なくなっている現状 ・なぜ少なくなっているのだろう ・マ・スールが伝えなかったことは、なんだろう。	△主体的
3 ～ 5	マ・スールのお話を聞いて振り返り。 自分にできることを考える。 →実践と共有	・もっとも小さきもの、忘れられている方への支援を考える。 ・現地の人に合わせた支援物的支援ではなく、循環型支援 ・マ・スールが伝えなかったことと実践していること、自分でできること はないだろうか。	△思判表
6	振り返りと見直し 下級生に伝えていきたいこと。 メッセージなど具体化する	自分の力を活かすという意味を、今一度自分で考えてみる。→方法を共有 ・卒業までの期間をその実践で過ごせるように視覚化していく。	△主体的
7	例) 行動・実践 ・校歌の意味を考え作詞してみよう ・ステンドグラスで表現してみよう ・下級生や先生との関わりを考えよう ・家族にできることはないか	6年生の場面ごとに、自分にできることを考え、自分を振り返る機会があった。その思いを形として残したり、人と関わったりしながら実践してもらいたい。周囲の方と関わりながら、自分の思いを受け止める期間として、卒業までの日々を大切に過ごしていきたい。	△思判表 △知・技